

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日1月7日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、1月14日（火曜日）からです。

『白洲正子』

挾本 佳代／著、平凡社／刊、請求記号：289.1/ Sh,85

内容：能の経験、古典の素養、ものを見る確かな眼、そして現地を歩いて確かめようとする姿勢。白洲正子は日本文化の根底に、何を見つめていたのか？ 白洲正子の心の軌跡を追う評伝。

著者紹介：1964年生まれ。東京都出身。法政大学大学院社会科学研究科社会学専攻後期博士課程修了。社会学博士(法政大学)。成蹊大学経済学部教授。著書に「社会システム論と自然」がある。

『天変の解読者たち』

作花 一志／著、恒星社厚生閣／刊、請求記号：440.2/ Sa,27

内容：卑弥呼、安倍晴明は何を目撃したのか？ 日食や彗星など、かつて「天変」として恐れられていた天文現象の古記録をもとに、コンピュータで当時の天体の動きを計算、再現し、天文と歴史の意外なつながりを明かす。

著者紹介：1943年山口県生まれ。京都大学理学研究科修了。理学博士。京都情報大学院大学教授。専攻は古天文学・統計解析学。

『日本の名機をつくったサムライたち』

前間 孝則／著、さくら舎／刊、請求記号：538/ Ma,27

内容：零戦、YS-11、紫電改…。航空ノンフィクションの第一人者が、堀越二郎、東條輝雄、菊原静男など、傑作機をつくった設計者らを取材。彼らの生涯と名機誕生までの経緯を克明に追う。『航空情報』連載をもとに単行本化。

著者紹介：1946年佐賀県生まれ。法政大学中退。石川島播磨重工業退社後、日本の近・現代の産業・技術・文化史の執筆に取り組む。ノンフィクション作家。著書に「技術者たちの敗戦」など。

『年賀絵はがきグラフィティ』

山田 俊幸／著、青弓社／刊、請求記号：726.5/ Y,19

内容：明治33年に私製はがきが解禁になり、カラフルな図像を描いた年賀絵はがきが一大ブームに。その後、関東大震災と「帝都復興」を経て、戦意高揚の年賀絵はがきへと変化していく。年賀絵はがきで近代日本の美と生活意識を読む。

著者紹介：1947年生まれ。帝塚山学院大学教授。専攻は日本近代文学、大正イマジユリィ研究。日本絵葉書会会長。著書に「アンティーク絵はがきの誘惑」など。

『クラシック名画のトリビア的楽しみ方』

北島 明弘／著、近代映画社／刊、請求記号：778.2/ Ki,65

内容：映画史に名を残すクラシック名画の数々を、驚きのウラ話や面白いトリビアをたっぷりと詰めこんで紹介する。映画雑誌『SCREEN』連載コラムを大幅に加筆訂正して書籍化。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp